

第 267 回競技委員会議事録

1. 日 時：2020 年 9 月 2 日（水）18 時 00 分～ 19 時 00 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 14（内委任状 3）で成立。

寺本直志委員長、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、山後秀幸、桜井雅子、
久富健史、仲村篤志

Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事、吉田正、浅越ことみ、
正村祐一

委任状：佐々部君敏、林伸之、石橋瑞己

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

木村 仁一 228963 C-01203 兵庫県

第 2 号議案 ゲラー委員からの議案

- (1) KO 戦において、ある途中段階で入賞が確定しかつ参加資格を満たしているプレイヤーが最終的に参加資格を満たさなかった場合、その途中段階のマスターポイントを付与することが提案された。審議の結果、変更は行わないこととした。
- (2) ACBL で採用されている「アナウンスメント」制度について、HANDBOOK で禁止を明示することが提案された。現状の記述でもできないことは明らかであること、影響が少なく個別に注意することが望ましいとの意見があり、変更は行わないこととした。
- (3) 英語版コンベンションリストがホームページ上に古いまま掲載されているため、現時点では古いものであることを明示し、今後最新版にアップデートすることとした。
- (4) 今年の高松宮記念杯は参加者数が多くなくボードが用意可能なため、初日から全対戦で組込ボードを使用することについて事務局から報告があった。
- (5) アラート要不要事例について意見を交換し、コンベンション WG にて審議することとした。

第 3 号議案 その他議案

SRR&ペアにおいて、午前と午後でボード数を変えても問題がないことを確認した。JTOS で設定することは可能だが基本設定ウィザードではできない。そのため改修要望を行う旨、事務局から報告があった。

次回競技委員会は 2020 年 11 月 4 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上